

〔経頭〕金三打。〔諸衆〕本尊の御前に對して身を正して合掌し、左腕に念珠を懸けて五体投地の禮を作すこと三度。普札の真言に曰く、

う おん
 ぱ はん ま さ
 ふ な る らば
 ば ま た
 ぶ んな ぶ た
 ば のう ば ぎや
 ば きや ば た
 ば ろ
 (み) み

え、一度念珠を摺る。その後、護身法すること常の如し。

〔讃頭〕 朝・灑水発音。夕・金一打発音。



次^{つぎ} 表白或いは願文^{がんもん}

〔導師〕奉読

（朝勤行）

敬白 眞言教主大日如來金剛界會三十七尊九會曼荼羅諸尊聖衆。竝大悲胎藏八葉蓮臺十三大院塵刹聖衆。殊には本尊聖者醫王善逝日光月光十二神將諸大眷屬、總じては佛眼所照恆沙塵數一切三寶境界而言

夫以みれば藥師如來と者、

本行菩薩道の初めには發すに十二の上願を以てし、
東方瑠璃界の際には導くに千萬の下愚を以てす。

内外明徹の惠光は能く惑業煩惱の闇夜を破し、

像末饒益の威力は廣大慈悲の願望を改むること無し。

是の故に藥壺を開いて祕法を施せば病患を速疾に除き

松算を與えて懇念に隨えば壽域を長生に全うす。

加之、一經其耳の少緣、尚お衆病悉除の功有り。

三業相應の懇請蓋ぞ轉業増壽の益を施さざらんや。

爰を以て護持法主、

今月今日壇上を靈地に儲け、六種の供具を設え、舉手低頭の禮敬を致して、
藥師如來の祕法を心門に修す。

然れば則ち、

護持法主 悉地成就

院内安穩 諸人快樂

別しては、

新型感染症物故者追善供養・新型感染症罹患者早期平癒

新型感染症醫療従事者・葬送従事者等身心安穩報恩謝德

新型感染症被影響者身心安穩日常回復・新型感染症早期終息

災害犠牲者追悼・復興途上地早期復興成就

參詣者・巡禮者・リモート參拜者 身心安穩厄滅開運運氣龍昇一生大吉

護持施主 所願成就 乃至法界 平等利益

敬白

（神分）

（夕勤行・薬師如來名號讀誦會）

敬白 平等寺本尊薬師瑠璃光王如來名號讀誦功德回向之事

伏して惟れば三世諸佛出世の本懷は一切衆生成佛の指南なり。如來所説の八萬四千の法門は生死の苦海を渡す筏なりと。蓋し夫れ六大無碍の臺には迷悟同く優遊す。三密平等の床には生佛互に自樂す。之に迷者は長く三界の遊泥に沈み、之を悟る者は恆に五智の靈臺に遊ぶ。この故に諸佛、彼の六趣の塗炭を悲愍して拔苦の道を開き、菩薩は其の三途の沈淪を哀憐して與樂の法を示し玉ふ。ここに甚深廣大拔苦與樂の佛有り。所謂東方淨瑠璃世界教主、薬師瑠璃光王如來・醫王善逝是なり。始むるにおいて十二の大願を起し、就中、第七願に曰く、「我來世に菩提を得し時、若し衆生あつて、病に逼迫し、救いなく、頼りなく、醫療なく、薬なく、親なく、家なく、苦しみ多ければ、我の名號、一度其の耳を経れば、病悉く除き、身心安樂にして家屬資具、悉く皆豐足とし乃至無上の菩提を證得せしむ」と。ここに今日の法會は、高祖弘法大師のご誓願「一切衆生の身心を平等に癒やし去る」ため御作されし平等寺本尊薬師瑠璃光王如來御寶前に、新型感染症物故者追悼、罹患者平癒、醫療従事者身心安穩、事態の早期終息並びに護持信心の施主らの諸願成就を祈らんがため、一座の法筵を開き、恆沙の名號・神呪を唱え、梵唄を奏し佛徳を讃す者なり。音声即ち實相を顯す。生死豈に涅槃に非らざらんや。仰ぎ願わくば薬師名號功力を以て恣に自他圓滿の眞果を證得せんことを。依って金盤を鳴らし過現名簿を唱えて回向すること左の如し。

- 一、奉爲三世覺滿十方賢聖淨佛國土成就衆生
- 一、奉爲弘法大師始奉三國傳燈諸大阿闍梨耶普賢行願皆令滿足
- 一、（ここでお申し込みのあった祈願を讀み上げる）
- 一、爲新型感染症物故者追悼
- 一、爲新型感染症罹患者當病平癒
- 一、爲新型感染症醫療従事者身心安穩報恩謝徳
- 一、爲新型感染症被影響者身心安穩所願成就
- 一、爲新型感染症早期終息（等、時節に應じて追加）
- 一、爲三界六道有緣無緣諸精靈等乃至法界平等利益

令和 年 今月 今日 護持法主敬白

右、唱へ舉る所如件

次つぎ
讀經どきよう
〔經頭〕金二打。〔朝勤行〕『理趣經』。〔夕勤行〕例時『般若心經 秘鍵』、六の日
『觀音經』、新月・満月『梵網經』、三と七の日『金剛界禮讃』、八の日『胎藏界禮讃』。

『理趣經』「百字偈」
〔朝勤行〕『理趣經』の中で「百字偈」を誦誦。
〔夕勤行〕「百字偈」の後に日に応じたお経を誦誦。

菩薩勝慧者 乃至盡生死

金剛薩埵

恆作衆生利 而不趣涅槃

菩薩の中にあって特に優れた智慧ある者は、いつまでもこの生死の世界にあって、常に衆生の利益を為し、
声聞や縁覚のように無益な涅槃に向かおうとはしない。永遠にこの世界に留まり、衆生救済に奔走する金剛
薩埵は、大智の故に生死に染まらず、大悲の故に涅槃に赴かない。これを無住處涅槃という。

般若及方便 智度悉加持

金剛欲明妃菩薩

諸法及諸有 一切皆清淨

金剛薩埵がどのように無住處涅槃を得たかといえば、般若の智慧（ものの本質は空であることを知る）と方
便（適切な方法論）とをもつて、あらゆる物事や生きとし生けるものをことごとく加持護念し、全てを皆清
淨にしたからである。般若と方便によつて全てを清淨にするという大いなる欲は、欲明妃の境地である。

欲等調世間 令得淨除故

金剛觸明妃菩薩

有頂及惡趣 調伏盡諸有

この大いなる欲によつて世間の罪惡を清め除くゆえに、有頂天から地獄までの迷いの世界全てを、迷いの世
界そのままで仏の世界とすることが出来る。この世界のまま仏の世界に触れることは、觸明妃の境地である。

如蓮體本染 不爲垢所染

金剛愛明妃菩薩

諸欲性亦然 不染利群生

この大いなる欲がもたらす分別（愛情）は私欲を離れた清淨なものであるゆえに、赤い蓮華の花が、その色
によつて汚されるのでは無く美しく輝くように、大いなる欲も分別（愛情）に汚されることなく、愛によつ
てより良く生きとし生けるものに利益を与えることが出来る。この不染の愛こそ愛明妃の境地である。

大欲得清淨 大安樂富饒

金剛慢明妃菩薩

三界得自在 能作堅固利

この清淨なる大いなる欲によつて、大いなる安樂を感じるようになり、どのようなものも調伏できる大いな
る財を得る。この世界のあらゆる場所あらゆる瞬間において、生きとし生けるものを誤りなく確実に利益す
る。この大いなる精進は、慢明妃の境地である。

次^{つぎ}

後讚^{ごさん}

〔経頭〕金一打。〔讃頭〕発音。願文ある時は一讃鉢三十。



四智漢語

鉢十五



心略漢語

鉢三十



佛讚^{ぶつさん}

鉢二十四

次^{つぎ}

三陀羅尼

夕勤行のみ誦する。〔経頭〕金一打の後、発音。



佛頂尊勝陀羅尼

一遍



一切如來心祕密全身舍利寶篋印陀羅尼

一遍



阿彌陀如來根本陀羅尼

一遍

次^{つぎ}

至心廻向

『金剛界禮懺』『至心廻向』偈

懺悔隨喜勸請福願我不失菩提心

諸佛菩薩妙衆中常爲善友不厭捨

離於八難生無難宿命住智莊嚴身

遠離愚迷具悲智悉能滿足波羅蜜

富樂豐饒生勝族眷屬廣多恆熾盛

四無礙瓣十自在六通諸禪悉圓滿

如金剛幢及普賢願讚回向亦如是

歸命頂禮大悲毘盧遮那佛

次^{つぎ}

退堂^{たいどう}